



【本校の教育目標】
ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

「変革・挑戦」安久小学校便り

令和2年
2月10日発行

高齢者の方々とのおふれあい活動

1月31日(金)、1年生が体育館において、標記の活動を実施しました。毎年、恒例となっている活動です。ねらいと主な内容等は、次のとおりです。会長の鬼東利夫様をはじめ21名の高齢者の方が、児童に遊び方を教えていただきました。

- ねらい … 昔から伝わる遊びを通して、高齢者とのふれあいを深める。【気づき・絆】
- 参加者 … 高齢者クラブの方々と第1学年児童49名
- 内容 【昔の遊び活動】
 - 開会式
 - 紙芝居
 - グループ活動1 → ○ おはじき ○ あやとり
 - グループ活動2 → ○ おじゃみ ○ けん玉
 - ミニボーリング活動 ○ メンコ ○ 竹とんぼ
 - 閉会式 ○ こま

最初は、なかなか難しかった児童も、高齢者の方々が根気強く教えてくださったので、少しずつ上手にできるようになりました。高齢者の方々の上手さに、どの児童も驚いていました。尊敬の念をもちながら、楽しく遊ぶことができました。最後に、高齢者の方々から、プレゼント(ノート)までいただき、児童はとても喜んでいました。御多用の中、参加していただき、ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。



国際交流活動

1月28日(火)、国際交流員2名を招聘して、5年生が国際交流活動を行いました。来校されたのは、中国国籍の**銭慧文**さんとオーストラリア国籍の**ジョージ・ウィリアム・グリーン**さんです。最初に、それぞれの国の位置や人口、主な産業や特徴等について説明していただきました。次に、伝統楽器や音楽について紹介していただきました。それから、継承されている手遊びや指遊びも披露していただき、みんなで楽しく遊びました。最後の質問コーナーでは、日本と両国の相違点が出され、それぞれの国のよさにふれることができ、有意義な活動となりました。【気づき】



宮崎大学の先生方と一緒に研修

1月30日(木)、「授業力向上フォローアップ事業」の一環として、宮崎大学の先生方と一緒に研修会を行いました。まず、第3学年2組**月野江理香**教諭の学級活動「学習発表会の内容を決めよう」の授業を参観していただきました。続いて、図書室において本校職員と一緒に、学級活動の授業の進め方や学級会の在り方について、ワークショップ形式で研修しました。【やる気・気づき】

- 本学年になって5回目の学級会でしたが、児童が積極的に発言していた。
 - 友達の考えや意見を理解した上での賛成意見が述べられていた。
 - 自分たちで話し合って決めようという意欲が感じられた。等の感想も出されました。
- 最後に、宮崎大学の先生方から指導助言をいただき、大変有意義な研修会となりました。

【御参加いただいた宮崎大学の先生方】

宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター 客員教授 **満丸 洋一** 先生
大学院 准教授 **竹内 元** 先生 教育学部 准教授 **盛満 弥生** 先生



第5回学校運営協議会

1月27日(月)の午後、梅北小学校において、標記の会を開催しました。本年度、最後の会でした。最初に、梅北小学校の授業の様子を参観しました。次に、学校ごとに地域が目指す中郷の児童生徒像である「地域に誇りをもち、夢に向かって、明るく元気に努力する子ども」に係る学校評価項目についての結果報告をしました。あいさつや地域とのふれあい活動、学習意欲等、3校とも概ね期待通りの評価結果でした。最後に、次年度の取組について協議しました。本年度同様、年に5回実施し、各学校の様子を参観することにしました。また、学校経営ビジョンに係る意見交換の場をもつことができるように、会の在り方を工夫する必要があるとの意見も出されました。「中郷の子どもは中郷で育てる。」次年度も地域と一緒に中郷の子どもを育てていきます。【気づき・絆】

中郷中学校入学説明会

1月31日(金)の午後より、標記の会が中郷中学校であり、第6学年児童と保護者が参加しました。まず、日浅雅道校長先生より、入学に当たっての心構えや小学校との違い等についてお話がありました。次に、生徒指導主事の安楽潤郎教諭より、学校生活についてお話がありました。続いて、後藤みゆき養護教諭より緊急時連絡やけが、健康面についてお話がありました。最後に、玉井教広教務主任より教科や学校行事、部活動等について、詳しく説明していただきました。その後、授業参観をさせていただきました。【やる気・気づき・絆】



今昔物語2

前回1月24日号に続いて、豊満出身の岩佐近先生(第41代校長渡邊聖先生の奥様(知子先生)の実父)の手記です。【絆】

森山真延先生は、本校に昭和11年から14年まで勤務された若い教頭先生で、岩佐先生が4年生のときに担任された先生です。その岩佐先生に関する手記です。

前回は、森山先生の素晴らしい教育実践について書かれていましたが、今回は、森山先生が岩佐先生の生涯にどう影響したかについて書かれています。

森山先生は、昭和15年宮崎師範学校男子部附属小学校の主席(副校長)に栄転された。附属の副校長になるということは、教員として最上級の光栄であり誰でもなれるものではない。森山先生が、最初に赴任されたのは小林小学校である。先生の著書の中に恩師のはなむけの言葉「君たちの将来は30歳までで決まる。若いうちに大いに励めよ。」を実行し、進んで研究授業をし、郡指定による研究公開授業をされ、哲学、教育学、心理学等の読書を励行されたと書いてある。細野小、横市小、28歳主席教員、安久小が30歳頃ではなかろうか。恩師の言葉どおり30歳で県下に安久小ありという業績等が、附属小の副校長という栄転につながったのだと思う。

私は、昭和16年に宮崎師範学校に入学した。身元引き受け人が宮崎市内在住という規則があったので、官舎にお願いに行った。男子部の先生ではいけないということで、女子師範女子部の一政久良先生に身元引き受け人になってもらった。森山先生のお陰で一政先生との出会いが始まり、長い間ご指導を受けた。

私が安久小学校に赴任した頃、一政先生は県の指導主事をされており、学校訪問等でご出張になり私の授業や研究論文、研究発表等のご指導をいただいた。長年、両先生からご指導をいただいたことに対し感謝申し上げます。

森山先生は、昭和17年37歳で清武国民学校校長に栄転され、昭和22年清武中学校校長栄転、昭和24年県社会教育課に栄転、昭和26年小林南小学校校長、昭和31年小林小学校校長

に栄転され、昭和35年に退職されている。その後、東京書籍宮崎駐在員となられ、私が泉ヶ丘高等学校に在職していたとき、教科書のごことで何回か来校してくださいました。その後、私立宮崎高等学校教頭10年4か月、昭和48年に退職。公立学校36年、私立学校10年、計46年間勤務されている。62歳からは漢詩を始められ、南九州大学の評議員となられ、詩吟等の指導もなさったようである。自宅が宮崎神宮の西、県立図書館の北に位置し、環境のよい所であるので何回もお伺いしご指導いただいた。

以上のように森山先生の略歴を拝見し、著書を読んで素晴らしい業績をつみ、栄転に栄転を重ねられた教育実践家であったと思う。安久小学校に昭和8年に入学した者は、その時その時で素晴らしい先生との出会いがあった。安久小学校に入学したという出会い、森山先生との出会いを一生忘れることはできない。

森山先生の人生の中で、安久小学校が一番印象の深い第二の故郷ではなかったかと思う。全ての職をまっとうして、何回か安久を訪ねられている。私たち一人一人が、素晴らしい先生との出会いを大切に思い浮かべ、森山先生の精神と業績をよりどころとして、サミュエル・ウルマンの詩「青春」にある一節、「人は希望ある限り若く、失望とともに老い朽ちる。」を心に刻みたい。そして、今日も明日も青春であり、素晴らしい偉い安久小学校の先生方から教育された人間であるという誇りを思い、一日一日を希望と夢をもち続けながら、喜寿を迎えたいものである。

【完】

右の写真は、第4学年の算数科の授業で学習支援をいただいている谷村愛珠さんです。南九州大学の4年生で、昨年度も宮崎県の事業で、第4学年の体育科学習のサポーターの補助として支援していただきました。今年度、第5・6年年の算数は、少人数指導できめ細かな指導ができる体制ですが、教職員定数の関係で、第4学年以下は一斉指導となっており、個別の指導が十分にできない状況でした。そこで、学校運営協議会委員に委嘱している南九州大学の宮内孝教授に相談し、卒業を間近に控えた学生をボランティアとして要請し、実現することができました。谷村さんにとっても、担任の先生の指導技術を学ぶよい機会となっています。【やる気・絆】



おめでとう!

【敬称略】

◇ 空き缶リサイクル (20ポイント獲得者) 5年 ●●●●●

◇ 都城市・三股町小中学校書き初め展

銀賞	3年	●●●●●	1年	●●●●●
佳作	1年	●●●●●	2年	●●●●●
	2年	●●●●●	3年	●●●●●
	3年	●●●●●	4年	●●●●●
	4年	●●●●●	5年	●●●●●
	5年	●●●●●	6年	●●●●●
	6年	●●●●●		

◇ 五色百人一首県南大会 【桃の部】

第2位 6年 ●●●●● 第3位 6年 ●●●●●